

# 青林 (せいりん)

登録番号：第2409号

登録年月日：平成2年10月6日

登録者：小山田博（岩手県盛岡市三割  
1-13-13）

井上通夫（埼玉県北葛飾郡林  
戸町杉戸2861-16）

藁谷政男（岩手県盛岡市山王町  
11-50）

育成者：井上通夫 藁谷政男

来歴：レッドゴールドの自然交雑実生

## 特 性

### ■栽培特性

樹は開張性で樹勢、大きさは中位である。枝の発出角度は比較的広く樹体の構成とその維持は容易である。短果枝の形成、花芽の着生は良好で豊産性であるが、摘果が遅れると果台枝の伸長と花芽形成が劣り結実部位のはげ上がりが見られる。この傾向は樹勢の弱い性台木使用樹で顕著であることから、わい化栽培ではせん定をやや強めとし、早期摘果に努めるとともに、施肥管理を含めた樹勢維持に配慮する必要がある。葉は大きさが中位でやや丸みをおび葉緑が波打つ。

育成地における花の満開期は5月10～15日頃で、主要品種の「ふじ」、「つがる」、「王林」とは高い交雑和合性を示し、相互で授粉樹とし得る。ジュンドロップはほとんど認められない。育成地での収穫期は10月下旬～11月上旬であるが、後期落果は少ないことから、果実の凍結の恐れのない地帯では、11月中下旬に収穫すると、蜜の十分入った完熟果を得ることができる。

### ■果実特性

果実の大きさは280～330g程度であるが、比重が高く、みたくよりも重量がある。果実は円ないし扁円形で斜軸。王冠は弱で若干波打つ程度である。がくあは広くて深く「レッドゴールド」に似ており、がくが閉じている。こうあの広さと深さは中。果梗はやや短く太さは中位で肉梗は認められない。果皮の地色は黄緑色ないし黄色で、陽向面がごく薄く淡い赤色に被われるが、果色的には黄りんごに分類される。さびの発生は少なく、果皮の光沢とろう質性、果点の大きさと密度、粗滑の程度はいずれも中位である。果肉は黄白色で硬さときめは中位。果汁は比較的多く渋みはない。甘みが強く酸味も若干感じられ食味は良好である。11月上旬頃の蜜の入りは中程度であるが、11月中下旬まで樹上に置いた果実には蜜がたくさん入り味が濃厚となる。また、爽やかな香りもでて優れた食味を呈する。

普通貯蔵および冷蔵による貯蔵性は比較的長い、11月中下旬に収穫した蜜入りの多い果実は年内販売としたほうがよい。

### ■病虫害抵抗性

斑点落葉病、黒星病等の主要病害に対しては「ふじ」並の感受性であり、際だって弱いということはなく、慣行の防除歴に準じて対処すれば十分防除できる。他の病虫害については特段の被害は認められていない。

### ■地域適応性

病虫害、生理障害については、主要品種に比べて特に問題となる点はない。環境適応性に関しては栽培が極限されていることから判然としないが、比較的広域適応性を備えた品種と想定される。なお、晩生の黄色系品種としては現在「王林」が大きなシェアを占めている。本品種がこれに食い込み、将来、大幅に栽培面積を拡大し得るほどの力を持つとは考えられないが、収穫期の幅が広く、完熟果は食味と日持ち性に優れていることから、宅配等による特殊販売で、ある程度の顧客を確保することが可能と思われる。

(土屋七郎)